

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年8月10日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 セック

コード番号 3741 URL <http://www.sec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 秋山 逸志

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 中川 美和子

TEL 03-5458-7727

四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	638	45.4	△10	—	6	—	2	—
21年3月期第1四半期	439	—	△138	—	△115	—	△70	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	1.05	—
21年3月期第1四半期	△27.44	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	3,960	3,399	85.8	1,327.84
21年3月期	4,103	3,438	83.8	1,343.39

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 3,399百万円 21年3月期 3,438百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	1,350	24.7	30	—	70	—	40	—	15.63
通期	2,820	5.7	100	10.1	180	△1.6	110	2.7	42.97

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	2,560,000株	21年3月期	2,560,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	176株	21年3月期	176株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	2,559,824株	21年3月期第1四半期	2,559,833株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間における我が国情報サービス業の業況は、経済産業省「特定サービス産業動態統計」によると、平成21年4月の月別売上高は前年同月比で減少、5月は僅かながら増加となっており、IT需要は全体的には低迷していると推察されます。加えて当社事業分野では、お客様からの価格引下げ要請が相変わらず強く、事業環境は厳しい状況でした。また当社の第1四半期会計期間は、期初ということで商談の確定が遅れる傾向があり、業績見込みの変動が大きくなりがちで、4つの四半期の中では業績が一番振るわないことが多くなっております。

こうした傾向の中、当社は潤沢な商談量の確保に努めるとともに経費削減に取り組んでまいりました。その結果、当第1四半期会計期間の業績は、前年同期比で増収となり利益面は改善しました。

ビジネスフィールド（以下、ビジネスフィールドをBFと省略）別には、モバイルネットワークBFは、通信事業者向けのネットワーク管理の技術アプリケーションが堅調で、売上高は67百万円（前年同期比80.2%増）となりました。ワイヤレスBFは、端末ベンダーの開発計画が予定どおりに推移したことに加え、オープンプラットフォームのエンベデッドソフトウェアが継続し、売上高は278百万円（前年同期比153.8%増）となりました。インターネットBFは、顧客の開発計画の変動や不況の影響などで新規の商談が確定せず、売上高は124百万円（前年同期比10.6%減）となりました。社会基盤システムBFは、防衛や交通関連の大型の技術アプリケーションが堅調で、売上高は86百万円（前年同期比29.2%増）となりました。宇宙先端システムBFは、開発計画の狭間にあたり、売上高は70百万円（前年同期比6.6%減）となりました。また、ソリューションビジネスは「地上デジタル放送用組込みソフトウェア——airCube」の販売などにより、売上高は10百万円（前年同期比8.6%増）と前年同期を上回りました。この結果、全社売上高に占める割合は、モバイルネットワークBFとワイヤレスBFが増加し、その他のBFが減少しております。

以上の結果、当第1四半期会計期間の業績は、売上高638百万円（前年同期比45.4%増）、営業損失10百万円（前年同期は営業損失138百万円）、経常利益6百万円（前年同期は経常損失115百万円）、四半期純利益2百万円（前年同期は四半期純損失70百万円）となりました。

#### ビジネスフィールド（BF）別売上高

ビジネスフィールド	前第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)		当第1四半期会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
モバイルネットワーク	37,635	8.6	67,801	10.6
ワイヤレス	109,553	24.9	278,077	43.6
インターネット	139,623	31.8	124,797	19.5
社会基盤システム	67,275	15.3	86,913	13.6
宇宙先端システム	75,429	17.2	70,451	11.0
ソリューション	9,749	2.2	10,585	1.7
計	439,266	100.0	638,627	100.0

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の総資産は、前事業年度末に比べ142百万円減少し、3,960百万円となりました。受取手形及び売掛金の減少、現金及び預金の増加などの結果、流動資産が141百万円減少したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ103百万円減少し、561百万円となりました。これは主に、未払法人税等、賞与引当金の減少などにより流動負債が105百万円減少したことによるものであります。

純資産は、当期純利益による増加、配当金支払いによる減少の結果、前事業年度末に比べ39百万円減少し、3,399百万円となりました。自己資本比率は前事業年度の83.8%から85.8%となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比べ331百万円増加して、期末残高は1,948百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期会計期間において営業活動の結果得られた資金は340百万円となりました。これは主に、法人税等の支払額100百万円、賞与引当金の減少90百万円による減少、売上債権の減少508百万円による増加の結果であります。前年同期と比較して132百万円の収入増となりました。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期会計期間において投資活動の結果支出した資金は12百万円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出7百万円などによるものであります。前年同期と比較して33百万円の支出減となりました。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期会計期間において財務活動の結果得られた資金は4百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増加48百万円、配当金支払いによる支出43百万円などによるものであります。前年同期と比較して7百万円の収入減となりました。

## 3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期会計期間における業績は概ね計画どおりに推移しており、第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成21年5月14日の平成21年3月期決算短信発表時に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

## 4. その他

### （1）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （2）四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

#### ・工事契約に関する会計基準の適用

当第1四半期会計期間より、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を適用しております。当第1四半期会計期間に着手した契約から、当第1四半期会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められるプロジェクトについては進行基準（進捗率の見積りは原価比例法）を、その他のプロジェクトについては完成基準を適用しております。

なお、受注製作のソフトウェア（ソフトウェアの請負契約）に係る収益の計上基準については、従来より、進行基準を適用しているため、上記会計基準及び適用指針の適用に伴う影響はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,948,599	1,617,202
受取手形及び売掛金	600,276	1,087,114
その他	140,929	127,145
流動資産合計	2,689,805	2,831,462
固定資産		
有形固定資産	41,086	44,068
無形固定資産	107,379	115,260
投資その他の資産		
長期預金	600,000	600,000
その他	522,457	512,840
投資その他の資産合計	1,122,457	1,112,840
固定資産合計	1,270,923	1,272,169
資産合計	3,960,729	4,103,631
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,649	42,090
短期借入金	84,000	36,000
未払法人税等	3,584	106,933
賞与引当金	94,000	184,000
その他	208,477	142,690
流動負債合計	406,710	511,714
固定負債		
役員退職慰労引当金	114,167	112,166
退職給付引当金	40,802	40,896
固定負債合計	154,969	153,062
負債合計	561,680	664,777
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	477,300	477,300
資本剰余金	587,341	587,341
利益剰余金	2,339,114	2,387,621
自己株式	△218	△218
株主資本合計	3,403,537	3,452,044
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4,488	△13,190
評価・換算差額等合計	△4,488	△13,190
純資産合計	3,399,048	3,438,853
負債純資産合計	3,960,729	4,103,631

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	439,266	638,627
売上原価	390,631	493,864
売上総利益	48,635	144,762
販売費及び一般管理費	187,177	155,588
営業損失(△)	△138,542	△10,826
営業外収益		
受取利息	2,240	2,095
受取配当金	203	155
補助金収入	16,020	13,119
その他	5,280	3,083
営業外収益合計	23,746	18,454
営業外費用		
支払利息	241	172
不動産賃貸費用	648	379
為替差損	—	809
営業外費用合計	890	1,360
経常利益又は経常損失(△)	△115,686	6,267
特別損失		
固定資産除却損	42	—
特別損失合計	42	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△115,728	6,267
法人税、住民税及び事業税	3,795	945
法人税等調整額	△49,283	2,632
法人税等合計	△45,488	3,577
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△70,240	2,689

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△115,728	6,267
減価償却費	18,796	18,865
固定資産除却損	42	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△67,000	△90,000
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,001	2,001
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	570	△94
受取利息及び受取配当金	△2,444	△2,250
支払利息	241	172
売上債権の増減額 (△は増加)	256,048	508,727
仕入債務の増減額 (△は減少)	△52,708	△25,441
未払金の増減額 (△は減少)	875	△9,106
未払消費税等の増減額 (△は減少)	10,311	700
その他	115,813	30,019
小計	166,820	439,860
利息及び配当金の受取額	41,585	1,389
利息の支払額	△329	△233
法人税等の支払額	△748	△100,960
営業活動によるキャッシュ・フロー	207,327	340,055
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,423	△2,980
無形固定資産の取得による支出	△29,651	△7,817
投資有価証券の取得による支出	△1,489	△1,534
差入保証金の差入による支出	△11,047	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,611	△12,331
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	110,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△56,000	△52,000
自己株式の取得による支出	△48	—
配当金の支払額	△42,245	△43,517
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,705	4,482
現金及び現金同等物に係る換算差額	827	△809
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	174,249	331,396
現金及び現金同等物の期首残高	1,699,990	1,617,202
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,874,239	1,948,599

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。



## 6. その他の情報

### 【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当第1四半期会計期間の生産実績を事業の部門別に示すと次のとおりであります。

区分	ビジネスフィールド	金額（千円）	前年同四半期比（％）
技術サービス	モバイルネットワーク	44,922	136.4
	ワイヤレス	224,910	251.1
	インターネット	92,494	76.3
	社会基盤システム	62,788	121.9
	宇宙先端システム	47,957	91.5
	ソリューション	20,792	48.4
	合計	493,864	126.4

- (注) 1. 金額は製造原価によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 受注状況

当第1四半期会計期間の受注状況を事業の部門別に示すと次のとおりであります。

区分	ビジネスフィールド	受注高（千円）	前年同四半期比（％）	受注残高（千円）	前年同四半期比（％）
技術サービス	モバイルネットワーク	25,543	96.5	34,409	94.9
	ワイヤレス	217,079	74.6	117,965	56.5
	インターネット	162,955	80.6	112,142	69.6
	社会基盤システム	98,186	62.9	120,259	102.5
	宇宙先端システム	126,692	90.6	75,502	77.7
	ソリューション	47,228	233.1	40,974	153.1
	合計	677,685	81.1	501,252	77.4

- (注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期会計期間の販売実績を事業の部門別に示すと次のとおりであります。

区分	ビジネスフィールド	金額 (千円)	前年同四半期比 (%)
技術サービス	モバイルネットワーク	67,801	180.2
	ワイヤレス	278,077	253.8
	インターネット	124,797	89.4
	社会基盤システム	86,913	129.2
	宇宙先端システム	70,451	93.4
	ソリューション	10,585	108.6
	合計	638,627	145.4

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 前第1四半期会計期間及び当第1四半期会計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)		当第1四半期会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社	77,003	17.5	111,281	17.4
ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社	—	—	91,993	14.4
KDDI株式会社	54,978	12.5	—	—
日本電気株式会社	46,344	10.6	—	—

(注) 前第1四半期会計期間のソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社及び当第1四半期会計期間のKDDI株式会社、日本電気株式会社につきましては当該割合が100分の10未満のため記載を省略しております。